

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英会話 I		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	ティモシー・ロジャー・マティソ
授業の概要				
<p>日常的で平易な会話文を学びながら英語表現、イディオムや文法を習得する。 また、実際に基本文型のパターンを応用してコミュニケーションの手段として実践力を身につける。 また、これらのことを学ぶことで、英語表現力をふやす。</p>				
授業終了時の到達目標				
保育関係の英単語・表現を理解し、使えるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	入園準備	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	登園・降園	家族・日時・送迎などについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
3	室内遊び 1	屋内にあるもの・遊具についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
4	室内遊び 2	いろいろな遊びについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
5	外遊び・けんか	遊具・遊び・けんかについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
6	健康	からだについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
7	病気・けが	病気・けがについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
8	運動・お散歩	運動・お散歩・植物・動物などについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
9	食事	持ち物・食器・献立・食材などについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
10	着替え・トイレ	持ち物・着脱・トイレについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
11	工作	用具・材料・作業についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
12	お絵かき	形・線・色などについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
13	乳児保育	育児用品・発達についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
14	おたより・行事	行事などについての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
15	連絡帳	子どもの様子についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
英会話 I 自作プリント		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストを予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
健康科学		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	元木 倫子(実務経験有)
授業の概要				
<p>現代社会は「超高齢社会」「余暇社会」などと呼ばれ、人類がかつて経験したことの無い時代を迎えている。このような中において、来るべく社会の問題や課題に対してスポーツはどのような意義や機能を持っているのだろうか。</p> <p>スポーツ活動をライフスタイルの中に位置づけ、自主的・主体的に実践していくために必要な基礎知識・技術を習得する。</p> <p>【実務経験】 元木 倫子：幼稚園・保育所において体育指導25年 障害児の体育指導 3年 現代社会においてスポーツの必要性を経験の知識から伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>スポーツの意義とこれからのスポーツの課題を知る 現代社会においてスポーツに期待されることを知る</p>				
回	テーマ	内容		
1	現代社会における体育教育	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	現代社会と健康	わが国の健康と社会・健康観 健康日本2 1		
3	運動の生理	運動と呼吸・循環・筋肉・神経・内分泌		
4	運動の基礎理論	体力の概念・トレーニング理論・運動と疲労		
5	生活と運動	現代生活と運動不足		
6	"	生活習慣病 運動と健康		
7	運動処方	運動処方の計画・運動の実践		
8	健康な生活の設計	現代社会とストレス・青年期の性とエイズ 薬物・アルコール・たばこと健康		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
健康科学		総合評価	100.0%	【準備学習】 これまでの人生の中でどのようなスポーツを行ってきたのか振り返っておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理入門 I		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三木 由美子
授業の概要				
近年、幼稚園や保育園でも情報機器が盛んに導入されるようになってきた。そこで、本科目は、パソコンの仕組みや歴史など基本的なことを学習する。また、ワープロソフトのWordや表計算のExcelなどを学習することにより、就職現場において効率的な業務を行えるようにする。				
授業終了時の到達目標				
パソコンの基本的作業が行える。				
回	テーマ	内容		
1	情報が増えていく社会	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	"	コンピュータの発展と歴史		
3	"	コンピュータのしくみとハードウェア		
4	"	ソフトウェアとプログラミング		
5	情報とネットワーク	情報とは インターネットのサービス		
6~7	"	インターネットの怖さ(犯罪)		
8~10	ワードの操作	ワードの基本操作について		
11~15	エクセルの操作	エクセルの基本操作について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
情報処理入門 I		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にワード、エクセルの簡単な操作方法を調べておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本国憲法		保育・食育学科/1年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	福田 稔
授業の概要				
日本国憲法全体の主要事項(国民主権・平和主義・基本的人権尊重・統合機構)の意味内容を体系的に理解しながら、そこで取り上げられる政治的・憲法的課題について自ら考える学習を行う。また、憲法が求める理念と現実社会との間にどのようなギャップがあるかを見つめながら、憲法問題に対する国民としてのリーガルマインドを養う。				
授業終了時の到達目標				
・新聞や映画など学生に身近な、憲法と関連のある題材を取り上げ、何が問題となっているのかについてグループワークを行い、さまざまな考え方があつたことを体験し、各自が考察するための軸のひとつを獲得する。				
回	テーマ	内容		
1	憲法と立法主義	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	日本国憲法の構成と基本原理	日本国憲法制定の歴史、日本国憲法の前文、本文の構成について学ぶ。		
3	平和主義	日本国憲法の平和主義、憲法第9条の解釈と運用について学ぶ。		
4	基本的人権	人権の尊重、日本国憲法における人権の体系について学ぶ。		
5	包括的人権と法の下での平等	日本国憲法第13条の法的性格、生命・自由・幸福追求」権について学ぶ。		
6	精神・身体に関する自由権	思想・良心の自由、身体に関する自由について学ぶ。		
7	社会権	日本国憲法第25条の規定、生存権の法的性格を学ぶ。		
8	国民の基本的義務	日本国憲法に定める国民の3大義務について学ぶ。		
9	国会と立法権	国会の地位と性格や「国権の最高機関」、「唯一の立法機関」の意味について学ぶ。		
10	内閣と行政権	内閣に帰属する行政権、議院内閣制について学ぶ。		
11	裁判所と司法権	司法権の観念、司法権の範囲、更に日本国憲法における司法権の観念について学ぶ。		
12	財政	財政立憲主義の原則、租税法律主義について学び、我々の生活と税金の関わりについて学ぶ。		
13	地方自治	日本国憲法第92条に定める地方自治の意義、また地方自治の性質について学ぶ。		
14	憲法改正について	憲法改正の手続きを学ぶ中で時事問題に触れる。		
15	日本国憲法全体について1	国民生活の中での日本国憲法との関わりを考察する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
憲法		総合評価	100.0%	【準備学習】事前にテキストを予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生涯スポーツ		保育・食育学科/1年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位(45時間)	必須	元木 倫子(実務経験有)
授業の概要				
<p>スポーツ活動をライフスタイルの中に位置づけ、自主的・主体的に実践していくために必要な基礎的知識、技術を修得することにくわえ、「誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを」という生涯スポーツの理念の実現に向けた学びをする。</p> <p>【実務経験】 元木 倫子：幼稚園・保育所で体育指導25年 障害児の体育指導3年 実際にスポーツを行いながら、子どもの指導ポイントについても伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>自分自身で身体を動かし考え行動することから、身体を動かす重要性を考えられるようになる。子どもの指導を経験しながら、保育者としての姿勢も同時に学ぶ。</p>				
回	テーマ	内 容		
1	保育現場における指導について	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2～11	実践	子どもたちの指導補助		
12～13	バレーボール	バレーボール		
14～16	縄跳び・跳び箱・卓球	縄跳び・跳び箱・卓球		
17～19	バスケ・バトミントン	バスケ・バトミントン		
20～23	スケート	スケート		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 スポーツを行う必要性を自分で意見をまとめる。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
子どもの理解と援助		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	山北 泰子(実務経験有)
授業の概要				
<p>保育実践において、実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解し、子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を学ぶ。また、子どもを理解するための具体的な方法や、理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。</p> <p>【実務経験】 山北 泰子： 幼稚園教諭として20年勤務 副園長4年 園長4年 現場経験を活かして 幼児理解と援助方法について伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 子どもを理解する上での基本的な考え方や具体的な方法を理解する。 保育士の援助や態度の基本について理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1	子どもの実態に応じた発達や学びの把握	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2~4	子どもを理解する視点	こどもの生活や遊び 相互の関わりと関係づくり 集団における経験と育ち 環境の理解と構成		
5~6	子どもを理解する方法	観察、記録、省察、評価 職員間の連携、保護者との情報の共有		
7~8	子どもの理解に基づく発達援助	発達の課題に応じた援助と関わり 特別な配慮を要する子どもの理解と援助		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
子どもの理解と援助		総合評価	100.0%	【準備学習】 自身の子どもの頃の遊びでどんなことをしていたのか振り返っておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児の心理学		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	山北 泰子(実務経験有)
授業の概要				
<p>子どもたちがどのようにこの世界を理解しようとしているのか、またその理解の仕方や変化や発達について学ぶ。子どもとおとなの視点の違いを知り、子どものありのままの姿を受け止めて理解する力を養う。また、保育者としての適切な子どもへの関わり方を学ぶ。</p> <p>【実務経験】 山北 泰子： 幼稚園教諭として20年勤務 副園長4年 園長4年 現場経験を活かして 幼児の心理学について伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>子どもが成長していく上でどのように回りの世界を受け入れ理解しようとしているのか理解する。子どもの思考と大人の思考との違いについて理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1	心理学とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	保育者に求められること	保育と心理学 幼児と心理学		
3	心の働きを知る	言葉とコミュニケーション 言葉の獲得		
4	覚えること	記憶のしくみ		
5~6	考えること	思考・知能・創造性		
7	発達と心の問題への対応	発達障害を知る		
8		発達障害児を伸ばす 心の問題を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト		総合評価	100.0%	【準備学習】 子どもの思考について事前学習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会福祉		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	尾崎桃子(実務経験有)

授業の概要

現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。これらのことを基礎に、社会福祉と児童福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について学ぶ。また、社会福祉の制度や実施体系について理解し、社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。更に、共生社会の実現と障害者施策について学びを深める。これらの学びを踏まえて社会福祉の動向と課題について考察をする。

【実務経験】 尾崎 桃子：社会福祉士・介護福祉士として5年勤務
現場経験を活かして、社会福祉の制度について伝える。

授業終了時の到達目標

保育者に求められる社会福祉に関する基本的な知識を習得する。
さらに、生活者としての視点で、現代社会における諸問題とそれに対応する社会福祉の意義と役割を理解する。

回	テーマ	内容
1	社会福祉の理念と歴史の変遷	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。
2	子ども家庭支援と社会福祉	子どもの最善に利益を尊重する子ども家庭支援 保育所等保育施設を中心とした子ども家庭支援
3	社会福祉の制度と法体系	社会福祉における法律と制度 法制度の種類と具体的内容
4	社会福祉行政と実施機関、社会福祉施設等	社会福祉行政の体制、福祉の財政 社会福祉施設とは
5	社会福祉の専門職	社会福祉に関する資格について 児童福祉施設に配置される専門職
6	社会保障および関連制度の概要	社会保障制度とは 子育て世帯の現状
7	相談援助の理論	相談援助理論の体系化 保育所・児童福祉施設における相談
8	相談援助の意義と機能	相談援助の特徴、原則、意義と機能
9	相談援助の対象と過程	保育における相談援助 相談援助の過程
10	相談援助の方法と技術	保育現場における相談援助の方法と技術の理解
11	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	権利擁護と苦情解決 成年後見制度、日常生活自立支援事業等
12	少子高齢化社会における子育て支援	人口動態と少子化の現状 少子化対策について
13	共生社会の実現と障害者施策	障害のとらえ方、現状 障害者福祉の展開
14	在宅福祉・地域福祉の推進	地域福祉の概念 関係機関との連携・ネットワーク
15	諸外国の社会福祉の動向	社会福祉と福祉国家

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
社会福祉	総合評価	100.0%	【準備学習】 事前に「社会福祉」の領域について自分の考えをまとめておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会的養護 I		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	尾崎 桃子(実務経験有)
授業の概要				
<p>社会的擁護の意義・歴史的変遷の把握を基盤に、児童観を含め児童の権利擁護、社会的養護の制度、実施体系、自立支援等の現状及び課題の理解を通して、保育士としての多様なニーズへの対応、児童の生活・成長・発達の支援の在り方について考察する。</p> <p>【実務経験】 尾崎 桃子：社会福祉士・介護福祉士として5年勤務 現場経験を活かして、社会福祉の制度について伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 社会的養護の現状と課題について理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1~2	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
3~5	社会的養護の基本	子どもの人権擁護と社会的養護 社会的養護の基本原則 保育士等の倫理と責務		
6~8	社会的養護の制度と実施体系	社会的養護の制度と法体系 社会的養護の仕組みと実施体系		
9~12	社会的養護の対象・形態・専門職	社会的養護の対象、専門職 家庭養護と施設養護		
13~15	社会的養護の現状と課題	社会的養護に関する社会的状況 施設等の運営管理 被措置児童等の虐待防止		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
社会的養護 I		総合評価	100.0%	【準備学習】 子どもの権利、児童憲章などに目を通しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育内容総論		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	
授業の概要				
<p>保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解し、保育の全体的構造を理解する。また、擁護と教育が一体的に展開することを具体的な実践につなげて理解する。また、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育過程につなげ、保育の多様な展開に対応できることを目指す。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解する。 保育の全体的構造を知る。 保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解する。 保育の多様な展開について具体的に理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1～2	保育の全体構造と保育内容	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
3～6	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	養護及び教育の一体的な保育 子どもの主体性を尊重する保育 環境を通して行う保育 生活や遊びによる総合的な保育 個と集団の発達を踏まえた保育 家庭や地域、小学校等との連携を踏まえた保育 等		
7～8	保育の多様な展開	長時間の保育 特別な配慮を要する子どもの保育 多文化共生の保育		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保育内容総論		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストを予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育課程総論		保育・食育学科/1年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	木曾 真理絵(実務経験有)
授業の概要				
<p>保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を学ぶ。 子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)について、その全体構造を捉え、理解する。</p> <p>【実務経験】 木曾 真理絵： 幼稚園教諭として10年勤務 現場経験を活かし指導計画の立て方を伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解する。 全体的な計画と指導計画の作成について、意義と方法を理解する。 保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)についてその全体構造を理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1	保育の計画と評価の基本	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	〃	計画・実践・記録・省察・評価・改善の過程の循環による保育の質の向上		
3	保育課程	保育計画の変遷と展開 指導計画(長期・短期)		
4	教育課程	教育課程の変遷と展開 指導計画(長期・短期)		
5	子どもの発達過程と指導計画	「発達」についての基礎的理解 発達の特性と発達過程		
6	〃	発達過程を保育現場に生かす		
7~11	保育の計画の作成と展開	保育所保育指針、幼稚園教育要領、用穂連携型認定こども園教育・保育要領 指導案の書き方、留意事項		
12	保育所・幼稚園における保育の評価	保育の記録・省察及び評価の意味		
13	〃	保育日誌とエピソードから読み取る		
14	保育の評価	保育所の自己評価・第三者による評価の意味		
15	実習につなげるために	実習生が作成する指導案について(ポイント)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストを予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
教育方法論		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	木曾 真理絵(実務経験有)
授業の概要				
<p>保育や教育に関する様々なトピックを検討することを通して、保育者という職務のあり方の本質的な理解を深めること、そして、今日必要とされる保育者像についての考察を深める。そのような中で、保育者としての役割や制度の検討を通して専門職に関する造詣を深める。</p> <p>【実務経験】木曾 真理絵：幼稚園教諭として10年勤務 保育現場における保育形態のいろいろについて伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>教育方法の歴史的変遷を理解する。 現代の教育方法について理解する。 幼児教育の教育方法について理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1	教育方法の理論	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	''	教育目標や教育内容との関係		
3	教育方法の歴史的展開	西欧の教育方法史		
4	''	近代・現代の教育方法		
5	''	教育工学的教育方法		
6	日本の教育方法の変遷	江戸時代の寺子屋の学びの特徴		
7	''	明治以降から戦前まで		
8	''	昭和20年以降 教育方法の現在的意義		
9	教育メディアの発達と教育技術	子どもの学びを支える教育メディアの意義		
10	授業の概念と様々な学習形態	教材単元と経緯単元		
11	''	指導の個別化と学習の個性化 教育方法と生徒指導		
12	''	様々な学習方法と形態 協同学習とは何か		
13	学力観	学力観 生きる力を育むために		
14~ 15	幼児教育の方法	保育方法と形態 近代以降の保育方法		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教育方法論		総合評価	100.0%	【準備学習】 自分が思う保育者像を考えておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育者論		保育・食育学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	濱野 茂雄
授業の概要				
<p>保育者の役割・職務内容と倫理について理解する。児童福祉法における保育士の定義を理解した上で、保育士の専門性について考察する。 また、保育者の連携・協働について学び、保育者の資質向上とキャリア形成について学ぶ。 更に、組織とリーダーシップについて学びを深める。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>保育者の役割と倫理について理解する。 保育者・教育者の制度的な位置づけを理解し、専門性について考察し理解する。 保育者の連携・協働について理解する。 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。</p>				
回	テーマ	内 容		
1	保育者の役割・職務内容	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	保育者の倫理	専門的倫理と法律 倫理綱領とは		
3	保育者の資格と責務	保育士の定義、資格とその要件 幼稚園教諭の職務、資格とその要件		
4	保育者の資質・能力	保育士、幼稚園教諭に求められる資質・能力 仕事をする上で必要な資質・能力		
5	養護および教育の一体的展開	保育所保育における「養護」と「教育」 幼稚園の「教育」 子どもの日常生活、遊びの場面における保育士のかかわりと援助		
6	家庭との連携と保護者に対する支援	家庭との連携 保育所等における子育て支援 保護者に対する子育て支援		
7	計画に基づく保育の実践と省察・評価	保育の計画、実践、省察、評価 指導計画作成上の基本的事項		
8	保育の質の向上	集団での保育について 評価の実施について		
9	保育における職員間の連携・協働	保育における職員間の連携 ドキュメンテーションと評価、協働		
10	専門職間および専門機関との連携・協働	専門職間、専門機関の連携協働		
11	地域社会との連携・協働	子どもを取り巻く社会 保育における地域との連携		
12	関係機関等との連携	地域型保育事業の概要 家庭的保育について		
13	資質向上に関する組織的取組	資質向上とは 園内研修について		
14	保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義	保育者としての専門性の向上 保育士のキャリアパスと専門的成長		
15	保育におけるリーダーシップ	保育所保育指針における職員の資質向上の基本 保育におけるリーダーシップの基盤		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保育者論		総合評価	100.0%	【準備学習】 保育者の役割について自分なりの考えをまとめておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児と人間関係		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	木曾 真理絵(実務経験有)
授業の概要				
<p>乳幼児期の発達と領域「人間関係」を理解する。子どもと保育者の関わり、遊びの中の人との関わり、生活を通して育つ人との関わりを学ぶ。 個と集団の中での育ちについて考察し、親しい人との体験が生きる原動力となり、子ども一人ひとりの成長を促していることを理解する。</p> <p>【実務経験】 木曾 真理絵：幼稚園教諭として10年勤務 現場経験を活かし、子どもたちの人間関係の構築について伝えると同時に5領域の「人間関係」をみる。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>「人間関係」について理解する。 人間関係の構築について理解し、人間関係を育むための援助と工夫を考える。</p>				
回	テーマ	内 容		
1	5領域における「人間関係」	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	人間関係の構築	人間関係の心理学の基礎①		
3		人間関係の心理学の基礎②		
4	暖かな人間関係を育むための援助と工夫	幼児にとって暖かな人間関係とは		
5		暖かな人間関係を育むための教師・保育者の役割		
6		人間関係を育む「環境構成」とは		
7	人との関わりに関する領域「人間関係」	ねらい		
8		内容		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト プリント		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストを予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児と音楽表現		保育・食育学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	鈴木 佳美(実務経験有)
授業の概要				
<p>子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。和音感、リズム感などピアノの力をつける。その上で、子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現とを結びつける遊びの展開などにも視点を向けていく。</p> <p>【実務経験】 鈴木 佳美：障害児・障害者施設にて音楽療法2年 現場経験を活かし、音楽技術・表現方法を伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>音楽の楽典の基礎を理解する。 こどもの発達過程から捉える。 ピアノの技術を向上させる。</p>				
回	テーマ	内容		
1	音楽	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	楽典	基礎的な楽典①とピアノ		
3~8	ピアノを弾く	和音感、リズム感 各自のレベルに合わせて童謡曲を弾く 曲に合わせてリズム遊びなど		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にピアノの練習をする。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児と環境		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	佐藤 洋美(実務経験有)
授業の概要				
乳幼児期の発達と領域「環境」を理解する。子どもを取り巻く環境の変化を理解し、子どもの発達と環境の関係性について学ぶ。子どもたちが、周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うために保育者がどのような関わり、環境を構成する必要があるのかを学ぶ。				
【実務経験】 佐藤 洋美：保育士として23年勤務 副所長として5年 所長として7年 現場経験を活かし 領域「環境」について伝える。				
授業終了時の到達目標				
乳幼児期の発達と領域「環境」を理解する。 子どもを取り巻く環境の変化を理解し、子どもの発達と環境の関係性について学ぶ。				
回	テーマ	内容		
1	保育内容「環境」について	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2~3	園内の環境と保育	園内の環境とは 園内の環境の実際		
4~6	園庭の環境と保育	園庭の環境とは 園庭の環境の実際		
7~8	自然環境と保育	自然環境とは 自然環境と保育実践		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト プリント		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストで 予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児と言葉		保育・食育学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	立山 映子(実務経験有)
授業の概要				
<p>子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。子どもが生活の中で、経験したことや考えたことなどを自らが自分なりのことばで表現し、相手の話すことばを聞くとする意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことばで表現する力を養う。また、絵本や紙芝居の読み聞かせなど実践的な学習をする。</p> <p>【実務経験】 立山 映子：幼稚園教諭として33年勤務 保育士として2年勤務 現場経験を活かし、子どもたちが目にする文化財について事例を通して伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>言葉の発達過程について理解する。 領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。</p>				
回	テーマ	内容		
1	言葉とは何か、言葉の発達	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	0歳児の言葉	乳児中心の生活と関わりを通じた言葉の獲得 豊かな関わりを育む保育環境		
3	1歳児の言葉	言葉を使ったコミュニケーションの始まり 言葉の獲得と人との関わり		
4	2歳児の言葉	2歳児の言葉の発達 対話的コミュニケーションを支える保育の場		
5	3歳児の言葉	3歳児の特徴 日常的な園生活の中で育まれる言葉		
6	4歳児の言葉	保育者との信頼関係を築く クラスの皆で話を聞くということは 自意識を持つ頃 友達関係の広がりの中で		
7	5歳児の言葉	5歳児の言葉の特徴 文字への興味関心 小学校との連携		
8	領域「言葉」のねらい及び内容を理解する	保育内容領域「言葉」 領域「言葉」と保育実践とのつながり		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト 資料配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストを 予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
造形表現（指導法）		保育・食育学科/1年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	
授業の概要				
<p>領域「表現」は子どもの自発的表現力を高め、豊かな感性を育てることをねらいとしている。自然やまわりの身近な環境とかかわりあって、自然物を使って自由な発想で造形活動を楽しめる感性を育てる。具体的にはデカルコマニーや玉吹き絵など平面表現のさまざまな方法を取得し、表現技術を高める</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>5領域にある「表現」を基礎に、こどもの造形活動の技法を習得する。 造形教育の目標と内容の理解。</p>				
回	テーマ	内容		
1～ 2	幼児教育の目標と内容	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
3～ 4	幼児の造形表現の発達と特徴	基礎的な能力の形成		
5～ 6	''	描く、作る 表現の発達過程		
7～ 8	''	幼児の絵画表現の特徴		
9～ 10	技法	デカルコマニー、玉吹き絵、にじみ絵		
11～ 12	''	すたっぴんぐ、マーブリング、ビー玉ころがし		
13～ 14	''	ローラー遊び、ステンシル、スクラッチ、フロッタージュ		
15～ 16	幼児造形表現の指導法	指導の展開（環境づくり、題材設定、導入、助言、評価）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前に表現技法について調べておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
健康（指導法）		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	元木 倫子（実務経験有）
授業の概要				
<p>「子どもの健康」や「子どもの運動遊び」を様々な社会的要因との関係から分析しながら、子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それらにかかわる環境について理解を深め、子どもの健康に必要な指導・援助の技術・技能を獲得する。</p> <p>【実務経験】 元木 倫子：幼稚園・保育所にて体育指導20年 障害児の体育指導3年 現場経験を活かし、5領域の「健康」について事例を通して伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>5領域の「健康」に記されている ねらい・内容などの領域構造を理解する。 就学前段階の運動遊びの指導・援助 基本的生活習慣の形成及び援助 健康・安全に関する保育活動について学ぶ</p>				
回	テーマ	内 容		
1	5領域「健康」	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2		年齢に応じた ねらいと内容について子どもにとっての健康		
3	発達	子どもの身体機能の発達 子どもの心の発達 基本的な生活習慣の確立		
4	生活	園生活と遊び 生活環境を整える		
5	安全管理と安全教育	安全管理の必要性 危険とは リスクとハザード 園における子どもの事故・傷害の発生状況 子どもの事故の原因と特徴		
6		安全教育の実際 アレルギーについて		
7	子どもを守る	健康を守るガイドライン 幼児期運動指針 保健計画		
8		感染症ガイドラインと保育者の罹患歴などの確認 食育基本法と食育		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストを予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人間関係（指導法）		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	木曾 真理絵（実務経験有）
授業の概要				
<p>子どもの人間関係の形成をめぐる諸問題について理解を深め、領域「人間関係」の内容及び意義について学習する。子どもが園生活を通じて、自分が周囲の人々に温かく見守られているという安心感から生まれる信頼感と、その信頼感に支えられて自分自身の生活を確立していくことによって培われる「生きる力」について学習する。</p> <p>【実務経験】 木曾 真理絵：幼稚園教諭として10年勤務 現場経験を活かし、子どもたちの人間関係の構築について伝えると同時に5領域の「人間関係」をみる。</p>				
授業終了時の到達目標				
5領域の一つである「人間関係」を理解する。 ねらいと内容及び意義を事例を通して理解する。				
回	テーマ	内容		
1	人間関係の構築	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	コミュニケーションゲームの体験①	非言語的コミュニケーションゲーム		
3	コミュニケーションゲームの体験②	言語的コミュニケーションゲーム		
4	認知バイアス	人間関係構築における認知バイアスについて		
5～7	子どもの事例から読み解く「人間関係」	保育現場における子どもの姿から見られる「人間関係」		
8	DVD	子どもが友達と遊ぶDVDを視聴 子どもの姿から「人間関係」を読み取る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト 適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 人間関係を形成していく上で大切なことを考えておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
音楽表現（指導法）		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	鈴木 佳美（実務経験有）
授業の概要				
<p>幼児教育における音楽表現の基礎知識を習得する。保育活動における音楽の役割を理解し、子どもの音楽表現活動に関する知識及び、指導、援助に関する知識・技能を学習する。</p> <p>【実務経験】 鈴木 佳美：障害児・障害者施設にて音楽療法2年 現場経験を活かし、音楽技術・表現方法を伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>リズム感を学ぶ。 音楽に合わせて表現することを楽しむ。</p>				
回	テーマ	内容		
1	リズムと拍子	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	音階と調	音階と調について		
3	和音と伴奏	主要3和音		
4		いろいろな伴奏		
5	アレンジ	アレンジ方法を知る		
6	楽器	カスタネット・タンバリン・ピアニカ・ピアノ ハーモニカ・トライアングル・木琴・鉄琴 小太鼓・大太鼓・ウッドブロックなど		
7	合奏	子どもが演奏する合奏を弾く①		
8		子どもが演奏する合奏を弾く②		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 楽器の名前は確認しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
環境（指導法）		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	佐藤 洋美（実務経験有）
授業の概要				
<p>子どもにとっての環境とは、物的環境・人間環境・自然環境などさまざまな環境が相互して育ちに関わっている。保育者と子どもが基本的に安全で心地よく生活する条件を具体的に保育施設の構造・人間関係をもとに考察し、より良い子どもの遊びの空間を創造するための理論・技術を備えた保育士の育成を目的とする。</p> <p>【実務経験】 佐藤 洋美：保育士として23年勤務 副所長として5年 所長として7年 現場経験を活かし 領域「環境」について伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「環境」のねらい・内容の構造を理解する。				
回	テーマ	内容		
1～2	社会環境と保育	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
3～4	文字・数・図形への興味・関心と保育内容「環境」	保育における文字・数・図形に関する学びの位置付けと実際		
5～6	小学校教育との連携と保育内容「環境」	小学校教育と保育 環境の視点と小学校教育		
7～8	子育て支援と保育内容「環境」	子育て支援と環境 子どもの育ちの基礎となる家族や地域社会を生成するために		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
こどもと環境		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前にテキストで予習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
言葉（指導法）		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	立山 映子（実務経験有）
授業の概要				
<p>子どもが生活の中で、経験したことや考えたことなどを自らが自分なりのことばで表現し、相手の話すことばを聞こうとする意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことば感覚やことばで表現する力を養う。また、絵本や紙芝居の読み聞かせなど実践的な学習をする。</p> <p>【実務経験】 立山 映子：幼稚園教諭として33年勤務 保育士として2年勤務 現場経験を活かし、子どもたちが目にする文化財について事例を通して伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>気になる子どもや日本語を母語としない子どもへの言葉の発達のサポートを理解する。 児童文化財についての理解をする。</p>				
回	テーマ	内容		
1	気になる子どもへの言葉の発達のサポート	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	日本語を母語としない子どもの言葉の発達を考える	日本語を母語としない子どもの増加 幼児期の子どもの状況と支援の現状 外国人児童の就学上の課題		
3～4	言葉の発達を促す児童文化財	3歳児未満の児童文化財と言葉の発達 わらべうた、手遊び、おはなし、赤ちゃん絵本、ことば遊び、人形遊びと人形劇		
5～6		3歳時以降の児童文化財と言葉の発達 絵本、紙芝居、幼年文学		
7	言葉を育てる指導と指導計画	3歳児未満の指導計画		
8		3歳時以降の指導計画		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
資料配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前に児童文化財について調べておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
劇遊び(指導法)		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	山北 泰子(実務経験有)
授業の概要				
<p>子どもが生活の中で、経験したことや考えたことなどを自らが自分なりのことばで表現し、相手の話すことばを聞こうとする意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことばで表現する力を養う。また、劇遊びやごっこ遊びなどの経験を豊かにし言葉の表現力を高める指導について工夫することができるようにする。</p> <p>【実務経験】 山北 泰子： 幼稚園教諭として20年勤務 副園長4年 園長4年 現場経験を活かして 幼児が喜ぶ劇あそびについて伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>「子どもの成長・発達と「ことばの習得」および「児童文化財」の関係について理解できる。 絵本の役割を理解し、絵本ごとの特色を踏まえた読み聞かせができる。 おはなしの種類と特徴が理解できる。 パネルシアターやペープサート等の保育文化財の役割が理解できる。 子どもたちの人形遊びの種類を把握し、それを活かした活動ができる。</p>				
回	テーマ	内 容		
1	子どもの成長・発達、ことばの習得、児童文化財	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	絵本	絵本とは、保育の現場で絵本を読むことの意義、絵本の種類と選び方		
3	パネルシアター ペープサート	パネルシアターとペープサート等の文化財について		
4	おはなし	おはなしとは、おはなしの種類と選び方		
5~ 8	劇あそび	グループに分かれて劇あそびを立案する。 小道具作成～発表まで		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
こどもと言語表現(吉田晃高)		総合評価	100.0%	【準備学習】 製作物の準備をおこなう。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
教育原理		保育・食育学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西本 佳代
授業の概要				
初めに教育の意義、目的及び児童福祉等とのかかわりについて学ぶ。その上で、教育の思想と歴史的変遷について学び今日の教育に関する基礎的な理論について理解する。また、教育の制度について理解し、それに伴う教育実践のさまざまな取り組みについて理解する。これらのことを踏まえて現代の生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。				
授業終了時の到達目標				
教育の意義と目的及び子ども家庭福祉等との関わりについての理解。 教育の思想と歴史を学ぶ。 教育の制度や取組について理解。 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解。				
回	テーマ	内 容		
1～5	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関連性	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
6～8	教育の思想と歴史的変換	諸外国、日本の教育の思想と歴史 子ども観と教育観の変遷		
9～11	教育の制度	教育制度、教育法規・教育行政の基礎 諸外国の教育制度		
12～13	教育の実践	教育実践の基礎理論 教育実践の多様な取り組み		
14～15	生涯学習社会における教育の現状と課題	生涯学習社会と教育 現代の教育課題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教育原理		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前に自分が考える教育の必要性を考えておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
音楽演習 I A (ピアノ)		保育・食育学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	濱崎 永美子

授業の概要

・音楽の基礎を徹底的に身につけ、簡単な曲、弾き語りの曲を弾けるようにする。

授業終了時の到達目標

・バイエル終了程度の技術を身につけ、簡単な童謡の弾き語りができる。

回	テーマ	内容
1	基本の理解	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。
2	ハ長調の和音 I V 7	バイエル 1 ~ 1 2
3	ハ長調分散和音	バイエル 1 3 ~ 2 0 笙 ^う と笙 ^お のリズムの理解
4	ハ長調、下屬和音	バイエル 2 1 ~ 2 6
5	ヘ長調	バイエル 2 7 ~ 3 2
6	ト長調	バイエル 3 3 ~ 3 8
7	伴奏形のいろいろ	バイエル 3 9 ~ 4 2
8	拍子のいろいろ	バイエル 4 3 ~ 4 8 移調について、3/4と3/8、3/8と6/8
9	笙 ^う 、 ^お のリズム	バイエル 4 9 ~ 5 4 リズムの徹底
10	高い音、低い音	バイエル 5 5 ~ 6 0
11	8vaの練習、高い音	バイエル 6 1 ~ 6 7
12	臨時記号、半音階、16音符	バイエル 6 8 ~ 7 2 リズムの徹底
13	イ短調、重音	バイエル 7 3 ~ 7 8
14	3連符、転調、弱起の曲	バイエル 7 9 ~ 8 4
15	その他の調、装飾音	バイエル 8 5 ~ 9 0

回	テ ー マ	内 容		
16	こどものうた	かえるのうた・ちょうちょう		
17	"	大きな栗の木の下で・あめふりくまのこ		
18	"	クラリネットをこわしちゃった・おもちゃのチャチャチャ		
19	"	1年生になったら・さんぽ		
20	"	おはようのうた・おべんとう		
21	"	おかたづけ・おかえりのうた		
22	"	はをみがきましょう・むすんでひらいて		
23	"	やきいもグーチャーパー（再試時間をとる）		
24	"	そうだったらいいのにな（再試時間をとる）		
25	"	たんじょうび・みんなで作ろう		
26	"	B e e M a r c h ・ R U N		
27	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
28	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
29	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
30	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教育芸術社 教職課程のための大学ピアノ 教本 こどもの歌100 保育実習用書いろいろな伴奏で弾ける選曲		総合評価	100.0%	【準備学習】 事前に各自練習を行う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
音楽演習ⅠB(器楽・声楽)		保育・食育学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	鈴木 佳美(実務経験有)
授業の概要				
1. 保育の内容を理解し展開するために必要な知識や技能を習得させる。 2. 音楽に関する基本的な知識や技能を身につけ、それらに関する様々な活動を通して楽しさや喜びを体験し、保育の中で取り扱う教材やそれらを展開するために必要な知識や技能を習得させる。 【実務経験】 鈴木 佳美：障害児・障害者の施設で音楽療法2年 経験を活かし、音楽の基礎知識を伝える。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・理論の基礎を学び、テキスト問題、レポートを完成させる。 ・コンコーネ、コーリユンゲンで訓練し、正しい音程、リズムで歌える能力を身につける。 ・腹式呼吸を訓練し、正しい発声で童謡をアカペラで歌う。 				
回	テーマ	内容		
1	理論 声楽	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	理論 声楽	テキスト第6章 発声練習、こどもの歌、コーリユンゲン27, 30, 35, コンコーネ3		
3	理論 声楽	テキスト第6章、レポート6ページ 発声練習、こどもの歌、コーリユンゲン27, 30, 35, コンコーネ3		
4	理論 声楽	テキスト第6章、レポート7ページ 発声練習、こどもの歌、コーリユンゲン27, 30, 35, コンコーネ3		
5	理論 声楽	テキスト第6章、小テスト 発声練習、コーリユンゲン27, 30, 35テスト、コンコーネ3		
6	理論 声楽	テキスト第7章 発声練習、こどもの歌、コンコーネ3テスト		
7	理論 声楽	テキスト第7章 発声練習、こどものうたテスト、		
8	理論 声楽	テキスト第7章、レポート9ページ 発声練習、こどもの歌、コーリユンゲン38, 41, 45, コンコーネ4		
9	理論 声楽	テキスト第8章 発声練習、こどものうた、コーリユンゲン38, 41, 45, コンコーネ4		
10	理論 声楽	テキスト第8章 発声練習、こどもの歌、コーリユンゲン38, 41, 45, コンコーネ4		
11	理論 声楽	テキスト第8章 発声練習、こどもの歌、コーリユンゲン38, 41, 45, コンコーネ4		
12	理論 声楽	テキスト第8章、レポート10, 11, 12ページ 発声練習、こどものうた、コーリユンゲン38, 41, 45テスト		
13	理論 声楽	レポート10, 11, 12ページ 発声練習、こどものうた、コンコーネ4テスト		
14	理論 声楽	レポート13, 14, 15, 16ページ 発声練習、こどものうた、		
15	まとめ	これまでの授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
近畿大学九州短期大学「音楽Ⅱ」 「(理論)レポート」「音楽Ⅰ」こどものうた		総合評価	100.0%	【準備学習】 自分の好きな童謡曲を数曲マスターしておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育演習 I		保育・食育学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	木曾真理絵・元木倫子・尾崎桃子 (実務経験有)
授業の概要				
<p>実践的体験を通して保育技術を学ぶ。 協力や相談をしながら、積極的に自分の意見が言えるようになるためにいろいろな経験を重ねる。</p> <p>【実務経験】木曾 真理絵：幼稚園教諭として10年勤務 現場経験を活かし遊びを伝える。</p> <p>元木 倫子：幼稚園・保育所にて体育指導25年 障害児の体育指導3年 現場経験を活かし動きのある遊びを伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
協力しながら自分の意見が言えるようになる。 保育技術を実践経験をを通して身につける。 恥かしがらないで人前に立つことに慣れる。				
回	テーマ	内容		
1	保育演習とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2～15	教材作り・練習・発表・保育の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び ・ペープサート ・パネルシアター ・ゲームや製作物の保育を立案→実施 ・あなかれ保育園にて体験 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 手遊び童謡曲など何曲か自分の物にする。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食と幼児教育		保育・食育学科/1年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	木曾 真理絵(実務経験有)
授業の概要				
<p>乳幼児期は「食」の基本が身につく大切な時期である。 そんな乳幼児を預かる幼稚園、保育所では「食育」をどう捉え、どう進めていけばいいのでしょうか。 「食育」の意味・栄養素の基礎 保育の場における 具体的な指導について食育遊びなどを全体的に学ぶ。</p> <p>【実務経験】木曾 真理絵：幼稚園教諭として10年勤務 保育現場における「食育指導」を伝える。</p>				
授業終了時の到達目標				
幼稚園・保育所で行う「食育」について知識はもちろん食育指導の技術を身につける。				
回	テーマ	内容		
1	食育とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2~3	果物の手入れ	実際に農園に行き 果物の手入れや収穫のお手伝い		
4~5	みんなでクッキング	農園にて、クッキング		
6	幼児期の食育について	保育現場が実践している「食育」指導について		
7	食育実践	食育ゲーム①		
8		食育ゲーム②		
9~13	幼稚園で発表する内容を計画~練習	各グループに分かれて 食育指導の立案を立てて 小道具作り~練習まで		
14	幼稚園にて発表 まとめ	食育指導の発表 食育指導の振り返り		
15	お弁当作り	自分全て手作り弁当を作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 子どもが抱える食環境問題について調べる。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食と健康 I (栄養学)		保育・食育学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	川井 美紀
授業の概要				
健康の維持増進のため、栄養の意義・栄養素の機能など基礎的知識を理解する。				
授業終了時の到達目標				
1. 栄養の意義や分類について理解する。				
2. 栄養素の働きについて理解する。				
3. 栄養素の摂取状況について理解する。				
回	テーマ	内容		
1	食育の意義・栄養とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	食育の意義・栄養とは	食生活指針 食事バランスガイド		
3	食育の意義・栄養とは	食生活指針 食事バランスガイド		
4~6	炭水化物	炭水化物の種類・代謝		
7~8	脂質	脂質の種類・代謝		
9~10	たんぱく質	たんぱく質の種類・代謝		
11~12	無機質	無機質の種類・機能		
13~14	ビタミン	ビタミンの種類・機能		
15	水分・ホルモン	体内における水分・ホルモンの役割		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
食育指導ガイドブック 食品成分表		総合評価	100.0%	【準備学習】 健康のために必要な栄養について調べる。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食文化		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	久留嶋 典子

授業の概要

食行動、食生活と人間形成のかかわり、身近な食物、年中行事、郷土料理などについて授業を行う。

授業終了時の到達目標

食文化に興味を持ち、発信できる力を身に着ける。

回	テーマ	内容
1	食文化とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。
2～3	米	稲作の伝来 稲の伝播経路
4～5	乳製品	身近な発酵食品を取り上げ、先人の知恵を学ぶ
6～7	パン	酵母とは。酵母の不思議。世界のパン。
8～9	野菜	野菜の旬。美味しい野菜の見分け方。
10～12	郷土料理	日本各地に伝わる郷土料理
13～14	日本料理	日本料理の変遷、成り立ち
15	世界の料理	アジア、ヨーロッパの食事、食文化、食事マナー

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
プリント適宜配布	総合評価	100.0%	授業態度、出席等を考慮する 【準備学習】 事前にテキストを予習。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食物（食品学）		保育・食育学科/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	川井 美紀
授業の概要				
多様化する食品に対応し、食品に関する専門的知識（食品の成分や性質、食品の変質及び防止法、食品の生産、輸入、流通）を理解し、食育インストラクターとして各食品を適切に選択して活用できる知識を身につける。				
授業終了時の到達目標				
1. 食品の機能と条件、食品の分類・特性について理解する 2. 食品の変質とその防止について理解する 3. 食品の生産・輸入及び流通について理解する				
回	テーマ	内容		
1	食品学とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	穀類	特性とその加工品		
3	穀類 イモ類	特性とその加工品		
4	種実類 野菜類 豆類	特性とその加工品		
5	野菜類	特性とその加工品		
6	野菜類	特性とその加工品		
7	野菜類 果実類	特性とその加工品		
8	果実類	特性とその加工品		
9	キノコ類 魚介類 藻類	特性とその加工品		
10	魚介類	特性とその加工品		
11	食肉類	特性とその加工品		
12	卵類	特性とその加工品		
13	乳類	特性とその加工品		
14	食用油脂 調味料 香辛料 嗜好品	特性とその加工品		
15	食品の保存と規格	特性		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
食べ物と健康Ⅱ 食品成分表		総合評価	100.0%	【準備学習】 テキストを事前に 目を通しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食育実習 I		保育・食育学科/1年	2019/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	1単位(60時間)	必須	川井 美紀
授業の概要				
保育現場における食育の一部である調理の基礎を学び、食育指導者としての知識を深める。				
授業終了時の到達目標				
成人の食事摂取基準に合った献立を通して、調理の基礎技術を習得する。				
回	テーマ	内容		
1	実習の概要	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2~3	日本料理	白ご飯、野菜の味噌汁、鮭のホイル焼き、肉じゃが、木の芽和え		
4~5	日本料理	青菜とじゃこの混ぜ合わせ、魚の照り焼き、かきたま汁、ほうれん草の白和え		
6~7	西洋料理	オムライス、コンソメジュリエヌ、マセドアンサラダ、ババロア		
8	筆記試験・実技試験	計量・切り方		
9	西洋料理	スパゲッティミートソース、ビシソワーズ、コールスローサラダ、二色ゼリー		
10~11	日本料理	飾りそうめん、天ぷら、かぼちゃの甘煮、サイダー寒		
12~13	中華料理	青椒牛肉絲、清汁鶏蛋、涼拌豆芽、珍珠丸子、開口笑		
14~15	日本料理	ちらし寿司、鯛のつみれ、かきあげ		
16~17	日本料理	鱈のムニエル、ヴィシソワーズ、グリーンサラダ		
18~19	西洋料理	ポークピカタ、ミネストローネ、ミモザサラダ、スイートポテト		
20~21	日本料理	三色丼、けんちん汁、なすの二色田楽、紅白なます		
22~23	西洋料理	マカロニグラタン、コンソメジュリエヌ、スペイン風オムレツ		
24~25	西洋料理	ハンバーグ、コーンクリーム、ポテトサラダ		
26~27	菓子	フルーツロール、アイスボックスクッキー		
28~29	日本料理	サバの味噌煮、吉野鶏と三つ葉の潮汁、出し巻き卵、紅白なます、卵の花入り		
30	試験	実技試験(包丁の扱い方) 筆記試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合点	100.0%	【準備学習】 家庭の調理の手伝いを積極的に行う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
教育実習事前事後指導		保育・食育学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	木曾 真理絵(実務経験有)
授業の概要				
<p>教育実習の事前・事後指導として、幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解したり、各科目で習得した知識や技能と教育実践とを具体的に統合することにより教育実習に対する意欲や課題意識を高めることをねらいとする。</p> <p>【実務経験】 木曾 真理絵：幼稚園教諭として10年勤務 現場経験を活かし、教育実習前の準備について心構えを説く。</p>				
授業終了時の到達目標				
2年次に教育実習を行う前に、保育所と幼稚園の違いを理解し、幼稚園における保育内容・指導計画について理解する。				
回	テーマ	内容		
1	教育実習とは	持ち物・園の職員・施設についての単語を学び、練習し、ロールプレイを行う。		
2	幼稚園教育要領	幼稚園教育要領		
3	指導計画について	教育課程		
4	日誌の記入の仕方	観察・日誌・考察について		
5	実習における注意事項	実習における 注意事項1		
6	実習における注意事項	実習における 注意事項2		
7	指導案	研究保育について・指導案の書き方		
8	〃	指導案の書き方		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【準備学習】 実習の手引きを熟読しておく。また、実習で使用する教材の準備を行う。